

# 町村週報

(町村の購読料は会費)  
の中に含まれております

## 2450号

毎週月曜日発行

発行所 **全国町村会** 〒100 0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03 3581 0486 FAX03 3580 5955

発行人 谷合靖夫：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110 8 47697

<http://www.zck.or.jp>



夏の思い出(北海道北竜町)

### もくじ

活動	政治	フォーラム	情報	随情	情報
策	策	策	報	報	報
動	策	報	報	報	報
正副会長が小泉首相などを訪問	地球温暖化と小雨頻発の影響を懸念	「創る」伝統をまちづくりへ	カプセルNOW&NEW	新任都道府県町村会長の略歴	田原坂とまちづくり
全国町村会	2003年版水資源白書	福井県金津町	新潟県・高知県	熊本市植木町長	富田元利
(2)	(3)	(5)	(8)	(9)	(10)
(12)					

### 写真募集

本誌表紙に掲載の写真を募集しています。四季折々の風物や行事など適当な写真がありましたらご寄贈下さい。(写真には題名、町村名を付けて下さい)なお、採否は当方に一任願います。送り先: 全国町村会・広報部

### 閑話休題

第二七次地方制度調査会が去る四月三〇日に公表した「今後の地方自治制度のあり方についての中間報告」は、地方分権時代における基礎的自治体の体制を構築していく上での重要な視点として、次のような「新しい公共空間」を打ち出した。これは注目してよい提案である。「地域における住民サービスを担うのは、行政のみではないということであり、分権時代の基礎的自治体においては住民や、重要なパートナーとしてのコミュニティ組織、NPOその他民間セクターとも協働し、相互に連携して新しい公共空間を形成していくことを目指すべきである。これを受けて総務省は調査研究を開始している。

## 新たな公共空間

千葉大学教授・東京大学名誉教授

大森 彌

これまでの通念から脱却し、広く民間活動がもつ一つの

この提案は、地方分権推進委員会の「最終報告」(平成一三年六月)における次のような訴えを引き継いだものとなっている。「自己決定・自己責任の原理に基づく分権型社会を創造していくためには、住民みずからの公共心の覚醒が求められるのである。公共サービスの提供をあげて地方公共団体による行政サービスに依存する姿勢を改め、コミュニティが担い得るものはコミュニティが、NPOが担い得るものはNPOが担い、地方公共団体の関係者が住民と協働して本来の『公共社会』を創造してほしい。」

「新たな公共空間」とか、本来の公共社会」といった言い方で問いかけてられているのは、地域における公共サービスは自治体だけが提供するものという、これまでの通念から脱却し、広く民間活動がもつ一つの公共サービスの担い手となりうることに眼を向け、この双方の「協働」によって、地域社会に新たな公共的活動の世界を形成していくことが時代の要請になっているということである。これは、最近、カタカナで「ローカル・ガバナメントからローカル・ガバナンスへ」と呼ばれている。「ローカル・ガバナンス」とは、行政活動と住民・民間活動との対等・協力によって新たな地域力を発現させていくネットワークだといえようか。

# 正副会長が小泉首相などを訪問



副会長  
左から松本副会長、山本会長、小泉首相、野中副会長、鹿野



上野内閣官房副長官



片山総務大臣

全国町村会の山本文男会長(福岡県添田町長)、鹿野文永副会長(宮城県鹿島台町長)、野中一二三副会長(京都府園部町長)、松本和夫副会長(佐賀県北方町長)は、8月8日、就任あいさつのため小泉内閣総理大臣、片山総務大臣、上野内閣官房副長官、古川内閣官房副長官などを訪問した。正副会長は面談の席上で、山積する町村行財政の諸課題について、意見を申し述べた。



古川内閣官房副長官

政 策

2003年版 水資源白書

地球温暖化と小雨頻発の影響を懸念



国土交通省はこのたび、2003年版「日本の水資源」(水資源白書)をとりまとめた。水資源白書は、例年8月の「水の週間」に合わせて公表しており、日本の水需給や水資源開発の現況、今後早急に対応すべき課題を総合的にとりまとめたもの。

白書は、2000年までの過去100年間に、年間降水量が10%以上減少した地点が多いことを指摘。将来はさらに小雨が頻発する危険性があると警鐘を鳴らし、安定した水供給のためには、需要と供給の両面から適切な対応が必要であると強調している。

本誌では、白書の第1編「地球規模の気候変動と日本の水資源問題」中心にその概要を掲載した。



第1編 地球規模の気候変動と日本の水資源問題

・ 昨今、地球規模での気候変動が深刻な問題として提起されている。これは、人間の活動に伴って発生する二酸化炭素などによる温室効果が地球の気温を上昇させ、自然の生態系や人間の諸活動に影響をもたらすというものである。

・ 「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)の第三次評価報告書(2001年)は、地球の平均地上気温(陸域における地表付近の気温と海面水温の平均)が1861年以降上昇し、20世紀の100年間で0.6±0.2も上昇したこと、地球全体の平均海面水位については10cm、20cm上昇したこと、また、積雪面積については1960年代後期以降では約10%減少した可能性が高いことを明らかにしている。また、過去50年間の温暖化の大部分が人間の活動に起因すること、新たな、かつより確実な証拠が得られたと述べている。

・ さらに、同報告書では、1990年から2100年までの間に、平均地上気温が1.4〜5.8 上昇し、これに伴って、北半球の積雪域の縮小と、9cm〜88cmの海面上昇が

発生すると予測されている。また、低緯度の陸上域では、降水量の増加する地域と減少する地域の両方が生じること、北半球の中・高緯度地域や南極では、冬の降水量が増加する可能性が高いこと、平均降水量の増加する地域においても、降水量の年々の変動が大きくなる可能性がかなり高いことなどが示されている。

・ エルニーニョなど数年スケールの気候変動や、氷河期のサイクルに見られる数10万年単位の気候変動など、気候の変動には様々な要因が含まれるが、水資源を安定的に確保するためには、今後も進行が予想される地球温暖化と、それに伴う降水状況の変化の影響を無視することはできない。これらについて対策を講じるべく調査・検討を進めることが不可欠であると考えられる。

1、地球温暖化と我が国の水資源への影響

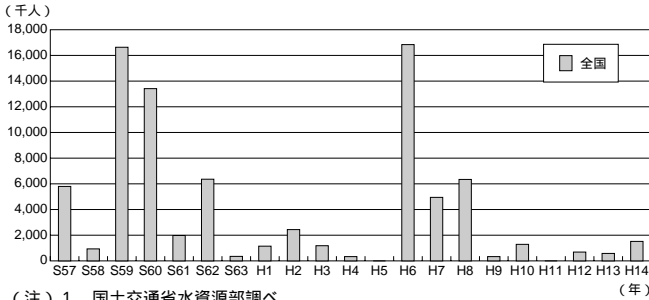
(1) 地球温暖化の実態

・ 20世紀(1901年から2000年の100年間)における地球全体の平均気温は、およそ0.6 上昇している。この傾向が継続するならば、21世紀における地球上の気温は、現在よりもさらに高いものになると予想される。

・ 地球温暖化の原因の一つは人間活動に起因していると言われている。すなわち、人間活動によって二酸化炭素などの温室効果ガスが増えること、地表付近の気温が上昇すると考えられる。

政 策

水道水の給水制限による影響人口の推移 (昭和57年～平成14年)



(注) 1. 国土交通省水資源部調べ  
2. 水道水の時間給水や減圧給水により一度でも影響を受けた人口を示す。

・IPCCによると、2100年までの気温の変化について、最も温暖化が進行するという試算で5・8、最小の場合で1・4、1990年に比べて上昇すると予測されている。また、この上昇率は、20世紀に観測されたものよりもはるかに大きく、少なくとも過去1万年の間にも観測されたことのない大きさである可能性がかなり高いと記述されている。

・気象庁によると、年平均気温の上昇幅は北半球の中・高緯度地域で大きく、2100年頃には2・5(1・7)上昇が予測されている。また、モデルによっては日本付近の全域で2以上上昇するという結果も報告されている。

・降水の少ない日が連続する最も長い期間を見ると、関東以西の地域は全体的に長くなる傾向が認められ、渇水発生の危険性が懸念される。

・1931年以降の月別降水量について異常多雨・異常少雨の発生回数を整理すると、異常少雨の発生数については増加の傾向が認められる。

・北日本日本海側では顕著な変化は認められないが、東日本日本海側の降雪量は1980年代半ば頃から急激に減少している。

・積雪深が減少する時期すなわち雪融けの時期が、近年では昭和40年代に比べると約半月程度早まる傾向が認められる。

・10%確率の少雨値は年平均値を上回るペースで減少。この傾向は、季節別、地域別にデータを整理した場合でも認められる。将来もこの傾向が継続するとは限らないが、仮に今後とも同様のペースで10%確率の少雨値が減少していった場合、将来時点で現在よりも深刻な少雨の頻発する危険性が高まり、水利用の安定性が低下することになる。

・降水量など気象現象の長期にわたる変化を、十分な精度をもって予測することはいまだ困難である。しかし、安定的な水供給を確保していくためには、降水量の変動や雪融けの早期化などが及ぼす影響を無視することはできない。このため、水資源の計画・運用に、長期的な予測の視点を考慮に入れていくことが課題と考えられる。

(3) 水資源への影響

・少雨の年の降水量の減少傾向によって、主要な水系における水供給の安定性も大幅に低下している。

・灌漑期の平均気温と日蒸発散量の

(2) 降水量の推移

・IPCCによると、20世紀における降水量の長期的な傾向は、南北両半球の中・高緯度地域を中心に、降水量が増加傾向にある一方、アフリカ大陸の赤道付近や南米大陸の西岸地域では降水量が減少している。また、このような気候変動の実態として、洪水や干ばつなどの異常気象が、世界各地で毎年発生している。

・51地点における、1901年から2000年までの100年間の年降水量は、北海道や西日本の一部を除くほとんどの地点で、長期的には減少傾向にあることが認められる。特に、東北部から紀伊半島にかけては、100年間で10%以上の大きな減少率を示している地点が多い。

・日本全体の年降水量を平均値で見ると長期的には減少傾向にある。

・水資源の安定的な確保という観点からは、少雨の年の降水量が大きな意味を持つている。多雨の年と少雨の年の差が大きくなってきており、特に1960年代半ば頃からその傾向が顕著に現れている。

・季節別に見ると、春季、夏季は増加傾向にある地点も多いが、秋季、冬季は北海道を除いて増加傾向にある地点はほとんどなく、逆に大幅な減少傾向にある地点が多く認められる。

・我が国の過去の渇水を振り返ってみると、戦前にも昭和14年の琵琶湖大渇水、昭和39年の東京オリンピック渇水、昭和42年の長崎渇水、昭和48年の高松砂漠、昭和53年の福岡渇水、昭和59・60年の全国冬渇水、平成6年の列島渇水と数年に一回の割合で大規模な渇水が発生してきている。

・昭和59・60年の全国冬渇水、平成6年の列島渇水の年では、全国で1,600万人以上が時間給水や減圧給水などの影響を受けている。

・平成6年の列島渇水以降、深刻な渇水は発生していないが、我が国の降水量を長期的な観点から見ると、減少の傾向を示している地域が多い。

・多雨年と少雨年とのばらつきも次第に増大してきている。

・安定した水供給を実現していくためには需要と供給の両面から適切な対応を講じていく努力が必要である。

・常に長期的・広域的な視点に立脚し、水資源の安定性確保に資する各種施策を、先行的かつ計画的に推進していくことが強く求められる。

2、第3回世界水フォーラムと閣僚級国際会議(略)

関係を見ると、平均気温が上昇するに伴って蒸発散量が増大する。

・全ての都道府県で気温が上昇するに伴って生活用水量原単位が上昇する傾向にある。

## フォーラム

## 現地レポート

平成14年度地域づくり総務大臣表彰「活力あるまちづくり(人づくり)部門」受賞

## 「創る」伝統をまちづくりへ



創作の森

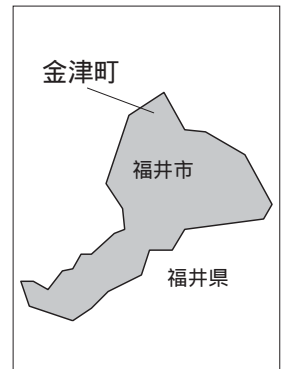
福井県 かなづ 金津町 ちよう

◆金津町の概要

金津町は、福井県の最北部に位置し、北部は標高30m前後の丘陵地、東部は刈安山、劔ヶ岳を結ぶ標高500～600mの稜線が続き、南西部は福井平野の一部を構成する田園地帯が広がっています。また、町の中心部には県内5大河川の1つである竹田川が流れる人口約18,000人の緑と水の豊かな町です。

主要交通は、JR北陸本線、北陸自動車道、国道8号が町の南北を貫き、特にJR芦原温泉駅、金津インターチェンジは嶺北の玄関口として重要な位置を占めています。

金津町の歴史は古く、縄文時代にさかのぼります。町のいたるところで貝塚や縄文人の住居跡から土器が出土しています。町の西部には北陸最大規模の古墳時代後期の横山古墳群があります。これは15基の前方後円墳を中心とする200以上の古墳群で越前王権の墓所といわれています。



フォーラム

また、北部、西部の丘陵地には古代製鉄の炉跡(タタラ)や鉄滓跡が数多く発見、竹田川の川底からも鉄塊などが見つかっています。古代人はこの地で砂鉄から鉄を製造し、その鉄製品は竹田川の港から送り出されていました。このことから金津という地名は「鉄を積み出す川港」に由来して生まれたと伝えられています。

室町時代には蓮如上人が吉崎に浄土真宗の拠点を置き、江戸時代には北陸道の要衝として旅館、問屋、妓楼が軒を連ねる宿場町、商業の町として栄えました。この頃、参勤交代の殿様が宿泊される際に本陣に箸や食器などの日用品で飾り物を作り、もてなしたのが「本陣飾り物」です。この本陣飾り物を作る伝統は370年あまり経った今も金津祭りに欠かすことのできないものとなっています。

◆金津創作の森から文化を発信

このような金津町には古代から培われた「創る」文化をテーマに豊かな自然と文化の調和の中から地域の魅力と個性を生み出すのが金津創作の森です。平成6年度に基本構想、平成7年度に基本計画を策定したこの事業は事業費約22億円を費やし、平成11年7月にオープンしました。

創作の森は金津インターチェンジに近い緑の中にあります。約20ヘクタールのこの森には作品の展示やコンサートが行えるミュージアムとギャラリー、レストランからなるアートコアを核として、陶芸やガラスの創作が体験できる創作工房、ガラス工房があります。また水辺の広場には芝生広場と池を巡るように散策道が整備され、自然環境に恵まれた森の中には、竹細工など様々な分野で活躍する作家7人のアトリエが点在しています。

この全国から集まった作家たちはこの森の主役です。自らの創作活動を発信するとともに、地域の人たちへの体験講座も開講しています。現



鉄の彫刻(青木野枝・作)



土壁(辻 けい・作)



ガラスアートドキュメント98

在、入居者たちによる講座はガラス、陶芸、ろうけつ染、竹細工が行われています。地域の人たちが気軽に創作活動に参加することで、造る文化の広がりにも貢献しているのです。

創作の森では新しいかたちの展覧会アート・ドキュメントをオープン以来毎年開催しています。これまでの美術展は作品を置いて見る形式がほとんどです。しかしアート・ドキュメントは創作の森に関係する大きなテーマをもとに公開制作

をメインとした展覧会です。造る姿を見て、出来上がった作品を見る。創作の森から発信する新しい展覧会の形です。

◆交流の場を広げる

(イベント)森から町へ) 創作の森では、アート・ドキュメントのほか、入居している7人

の調和が保たれているのです。アート・ドキュメントが開かれるたびに森には新しい作品が増え、森は顔を変え、成長していきます。このことが来場者の五感を刺激する仕掛けとなって、この森から、自然の中で造る感動を、新たな文化を地域に、全国に、そして世界に向けて発信しています。

フォーラム



アートマーケット

の作家たちが様々なイベントを企画し、開催しています。これらの活動は、その活動を支えるボランティアの人、企画展を鑑賞する人、創作工房での講座に参加する人そして森の散策などを楽しむ人たちの交流の場ともなっています。芸術作品はまだ多くの人になじみが薄いものです。そこで創作の森では、「福井の美術ナウ森から町へ」を一昨年開催しました。これはJR芦原温泉駅前の空き店舗などを利用し、町の中に作品を展示したものです。

くことも金津祭の楽しみとなつていきます。町民の日常的な居住空間の中に作品が展示されたことは、本陣飾り物同様、町民にスムーズに受け入れられ、町民と芸術との距離を縮める効果がありました。また、創作の森では子どもたちの体験の場を多くつくっています。陶芸、ガラス作品、竹細工、ろうけつ染めそして自然とのふれあい。創作の森は、子どもたちの中にいつも驚きと新鮮な発見を提供し、創造性を育てていきます。



水辺の広場

このほか、創作の森では森の自然を生かしたプロムナードコンサートや国内外の作家の公開製作によるワークショップ、クラフトマーケットなどが開かれています。芸術により親しんでもらい、より身近に感じてもらう仕掛けを次々と行っています。

◆「創る」文化を新しいまちづくり(最後に)

創作の森が完成してまだ5年。新たな文化の成果は生まれてきてはいません。人づくりにとはとても時間がかかり、その成果は目には見えにく

いもので、創作の森の成果は、長い目で見なければ出てくるものではありません。創る文化は、本陣飾り物にみられる地域の協働の輪や子どもたち



金津祭本陣飾り物

造る喜びから刺激を受けた子どもたちからは、斬新なアイデアや新しい文化が生まれ育っていきます。

金津町は、鉄をつくる、本陣飾り物をつくるなど古くから創る文化が育まれています。創作の森は、この創る文化を未来へつなぐ魅力あるまちづくりの拠点としての役割を果たしています。

(金津町総務課 西川 佳男)

【訂正文】二四四九号(八月四日付)もくじ欄の随想執筆者名 新潟県湯沢町長 村上隆征様は、村山隆征様の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

カプセル Now & New

雑誌最新号を一晚に 北海道 端野町 限り貸し出し

町立図書館は、これまで閲覧しかなかった最新号の雑誌を一晚に限って貸し出すサービス「ワン・ナイト・リターン」を実施している。新刊雑誌は、閉館間際の午後四時四十五分以降に貸し出し、翌日の午前十時の開館までに時間厳守で返却してもらう。

温泉を町民に販売

宮城県 女川町

町は、住民の健康増進に関する条例を施行するとともに、町内の総合運動場敷地内で汲み上げている温泉を、一リットル当たり五円で町民に販売している。温泉は平成九年に掘削されたもので、将来的には町民が気軽に利用できる温泉施設の整備も検討していく予定。

分譲地販売で民間と 福島県 協定締結 泉崎村

村は、住宅や企業向け分譲地の販売を促進し、地域活性化を図っていくため、郡山市に本社を置く郡山ヤクルト販売と分譲地販売協定を締結した。官民連携して情報交換や雇用確保面の協力をしながら、分譲地や商品の販売促進などに取り組んでいくのがねらい。

町民出演の ミュージカル上演へ 栃木県 岩舟町

町は、町文化会館コスモスホールの開館十周年記念として

上演するミュージカルの出演者を募集し、毎週土曜日に約四時間ずつ練習している。ミュージカルは、岩舟を舞台に山の精や動植物などが一時間半にわたり合唱やダンスを披露する内容で、十二月七日に上演する。 緑化協力金で緑地を 神奈川県 大磯町 保全

町と神奈川県は、同町の「みどりの基金」と、県営駐車場などの利用者から一回二十円の寄付を募った「緑化協力金」で、「大磯こゆるぎ緑地」を購入し、保全していく。緑地は歴史的に由緒ある松林で、約一七三〇㎡。緑地内では散策路の整備も計画している。

佐渡金銀山課を新設

新潟県 相川町

町は、近世のわが国最大の金銀山である「佐渡金銀山」の世界文化遺産登録を目指し、佐渡金銀山課を新設した。世界遺産の登録運動や文化財の保護に取り組んでいく。まずは国の重要文化財の指定を目指し、文化面での調査研究を進め、国への報告書の作成を行っていく。

高齢者の筋力 トレーニングを実施 福井県 松岡町

平成十四年度からトレーニングマシンなどの機器を購入して高齢者の筋力トレーニングのモデル事業を実施してきた町は、今年度から筋力トレを中心とする高齢者の健康づくりを本格的に着手。六十五歳以上の町民から希望者を募り、三か月程度の

筋トレを実施している。

花をテーマにした イベントを開催 長野県 白馬村

「花の里」づくり推進協議会を設置し、村民の協力を得て公共施設などを花で飾る運動を進めてきた村は、イベントによる観光客誘致をねらいに、七月と八月の二か月間、北アルプス山麓の五竜アルプス山野草園をメイン会場に、「白馬アルプス花三昧二〇〇三」を開催している。

二十一年間で土地を無償 静岡県 静岡県 譲渡する事業を実施 春野町

町は、定住促進を図るため、二十一年間住めばその土地を無償譲渡する「定住促進住宅事業」を実施している。町内宮川平木地区にある旧工場跡地を、「スプリングフィールドひらき」の団地名で六区画程度に分けて整備し、自宅建築を前提に土地貸与希望者を募集していく。

独自の地域振興券を発行 奈良県 川上村

村は、村内の約二百店舗で利用できる村独自の「地域振興券」一人当たり三万円を、村在住の六十五歳以上の高齢者と中学生以下の子ども計約千三百人に交付した。介護保険料改定などによる負担増を軽減していくのがねらいで、平成十五年限りでの事業として実施した。

廃校を民間に貸し付ける 岡山県 御津町

町は、閉校となった小学校の校舎などを、年間の維持費を出してもらうことを条件に、民間

に二十一年間無償で貸し付けていく計画を進めている。維持費削減を図り、財政負担を減らすのがねらいで、同校の民間による活用に応じたのは構造改革特区に提案している。

乳児の足形の陶片を 香川県 庵治町 プレゼント

町は、子育て支援策の一環として、乳児の足形を取って陶片をつくり、記念品として贈呈する事業を行っている。対象は生後三か月検診に来た乳児で、直径二十cmの円盤状の土に足形をつけ、メッセージを刻んでもらったものを焼いて、保護者にプレゼントしている。

家庭の生ごみ堆肥化 愛媛県 事業を推進 内子町

資源循環型の農業を積極的に進め、可燃ごみの削減を目指すため、町は家庭から出る生ごみを肥料にするリサイクルを推進している。指定日に収集した生ごみを農協の堆肥センターに運び堆肥化し、できた肥料は農家や一般家庭に販売している。

福祉相談員を役場内 鹿児島県 に配置 串良町

町は、町民からの福祉に関する相談や問い合わせなどに対応していくため、役場内に福祉相談員を配置している。福祉相談は年間七百件ぐらい寄せられており、相談員には月に十五日程度来庁してもらい、町民の相談等に応じてもらっている。

カプセル Now & New



情 報

新任都道府県町村会長の略歴

新潟県町村会は七月九日の臨時総会で次のとおり会長を選出した。

新潟県町村会長  
南蒲原郡中之島町長

樋山 桑男  
大正十二年三月八日生



【住所】新潟県南蒲原郡中之島町大字中条丙六〇一番地

高知県町村会は八月六日の臨時総会で次のとおり会長を選出した。

高知県町村会長  
吾川郡吾川村村長

藤崎 富士登  
昭和五年八月十一日生



【住所】高知県吾川郡吾川村田村八八番地

【町村長に当選するまでの経歴】昭和三十八年村議会議員 六十二年森林組合長 六十二年吾川村村長

【町村長としての当選回数】五回

【町村長に当選するまでの経歴】昭和十八年見付町立見付国民学校訓導二十三年中之島村立中之島北中学校教諭 六十年中之島村村長

【町村長としての当選回数】五回

【町村会関係の経歴】平成六年南蒲原郡町村会長・新潟県町村会理事

十二年新潟県町村会副会長

【主な業績】町制施行(昭和六十一年) 農業構造改善事業の推進 社会福祉施設・デイサービス・老人の家)の整備 中学校の統合・校舎改修

流通団地・住宅団地の整備促進 保育所等児童福祉施設の改修整備

町民文化センター及び体育館の竣工 公共下水道着工及び一部供用開始

【趣味】読書

【家族】妻

【町村会関係の経歴】昭和六十二年県町村会政務調査委員 平成十一年吾川郡町村会長 十三年県町村会副会長

【主な業績】流域森林組合の統合(流域林業の活性化) 広域基幹林道整備 高冷地野菜団地の導入による

若者の定住 高糖度トマト生産施設、観光物産販売施設等整備 大崎診療所による過疎地域医療と福祉の

融合・充実 保健センター、デイサービスセンター、高齢者福祉セン

ター等建設、特別養護老人ホーム開設 保育所・幼稚園・小・中学校大

規模改修 観光交流の振興 中津溪谷遊歩道、吾川スカイパーク、夢の

森公園等整備、グリーンフォレストセンター「ゆの森」建設 住民参画

型行政の推進(吾川村総合計画策定)

【趣味】読書 ジョギング

【家族】妻

建設工事保険

旅行傷害保険

自治会活動保険

各種損害保険・生命保険

全国町村会総合賠償補償保険制度  
全国町村会特定疾病保険制度

取扱い代理店

株式会社 千里 (ちさと) 里

(引受保険会社) 損保 = 損害保険会社7社  
生保 = アリコ・ジャパン

本社 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内 ☎ 03-5512-4726(代)

福島 024( 558 )2980	愛知 056( 81 )2072	広島 082( 844 )1067	熊本 09( 359 )1766
東京 042( 722 )3324	三重 059( 223 )2808	山口 083( 928 )7886	宮崎 098( 32 )2789
神奈川 045( 453 )7663	兵庫 078( 362 )7812	徳島 088( 624 )1603	鹿児島 09( 206 )1019
北海道 011( 272 )8677	山梨 055( 237 )5135	福岡 092( 632 )9714	沖縄 09( 862 )2627
青森 017( 738 )2346	新潟 025( 283 )5650	佐賀 095( 29 )3145	
宮城 0224( 33 )2725	長野 026( 285 )4764	岡山 086( 245 )4833	

随 想

田原坂と町づくり



熊 本 県  
う え き 木 町 長  
富 田 元 利

随 想

雨は降る降る 人馬は濡れる  
越すに越されぬ 田原坂

植木町を語るとき、明治十年西  
南の役の激戦の舞台となった田原  
坂を置いてそれは出来ない。世に



田原坂公園 美少年像

言う「田原坂の戦い」であり、西  
南の役の明暗を分けたとされる。  
その戦いの様は文字どおり、屍は  
山となり、血は河となって流れる  
修羅場と化し、多くの若者達、特  
に若い薩摩軍の兵士達が命をおと  
したと聞いている。その中には、  
十三才から十五・六才の少年もい  
たとされ、それだけに一大悲劇と  
して語られる所以である。

民謡「田原坂」はその若者達の  
死を偲び、悲しく哀調を帯びたメ  
ロディーで今日まで唄い継がれて  
おり、毎年三月の初めには民謡  
「田原坂」全国大会を開催し顕彰に  
努めている。また、戦場の要塞と  
なった田原坂は、今もほぼその原  
型をとどめており、その周辺一帯  
は史跡公園として、慰霊塔や資料  
館も整備され、四季を通じ人々が  
訪れる憩いの場として親しまれて  
いる。なおまた、三月二十日に

は、戦没者追悼式を執り行い、各  
地からご遺族の方々も参列される  
等、当時を偲ぶ縁ゆかりとなっている。  
植木町にとつての田原坂は、文字  
どおり有利無形の財産として住民  
の多くの人達が心を寄せており、  
私自身このことを何よりも大事に  
したいと心から思っている次第で  
ある。

それにしても、最近に於ける人  
間を人間とも思わない、異常かつ  
残忍極まりない事件が続発する日  
本社会の現状は真に憂慮されるべ  
き事態であると思う。なかでも、  
明日の日本を担う青少年をめぐる  
数々の事件や、その行動の実態を  
見聞するにつけ、例えそれが一部  
の若者達であったとしても、その  
精神構造は如何なるものになって  
いるのかと、将来に対する不安と  
ともに、少なからず懸念をもつ  
は、決して私一人ではないと思う。

私は、田原坂に殉じた若者達を  
思うにつけ、時代が変わればこう  
も同じ年頃の少年達であっても、  
その精神生活は、違ってくるもの  
なのかと、あらためて考えさせら  
れている。因みに、戊辰戦争に於  
ける白刃して果てた「白虎隊」も、  
未だ前髪の取れない少年達であつ  
た。先の大戦に於ける知覧基地に  
象徴される特攻隊員もまた、少年  
達がいた。かつまた、前述の田原  
坂の戦いに於ける美少年の悲劇  
は、あまりにも有名である。勿論

当時の状況を、私には知る由もな  
いが、いずれも、命を賭し、散り  
ゆく研ぎ澄まされた精神の高貴性  
に敬服する。たしかに当時との精  
神風土の違いはあるにしても、今  
日に於ける若者達の行動原理に  
は、やはり何かが欠落しており、  
敢えて言にすれば、幼稚そのもの  
ではないかと言わざるを得ない。  
果たして、その責任の所在はと世  
に問うても、詮方ないこと、例え  
豊かさなるが故をもつて、命を賭  
して目標に挑むその術をなくして  
しまったと弁解されても、それを  
納得するには、あまりにも大きな  
ツケを背負わされものではあると  
思う。私どもの地域を見まわして  
も、決して他人事ではなく、青少  
年問題は、町を挙げていよいよ真  
剣に取り組む時であると肝に銘じ  
たい。

本町の人口は、現在、約三万一  
千五百人、熊本市の隣接町とし  
て、ベッドタウンの傾向も強めな  
がら、今でこそその陰りを見せは  
じめているものの、植木すいかを  
はじめ園芸蔬菜等全国有数の農業  
の生産団地として知られている。  
また、昔から豊前街道の宿場町  
として栄え、今日、JR植木駅に  
はじまり九州縦貫自動車道植木イ  
ンター、国道三号、国道一〇八号、  
県道大牟田・植木線等が交錯し地  
理的、交通条件にも恵まれてい  
る。なお、百年以上の歴史をもつ

随 想

植木温泉、宮原温泉もまた、田園温泉として、年間を通じ賑わいを見せている。

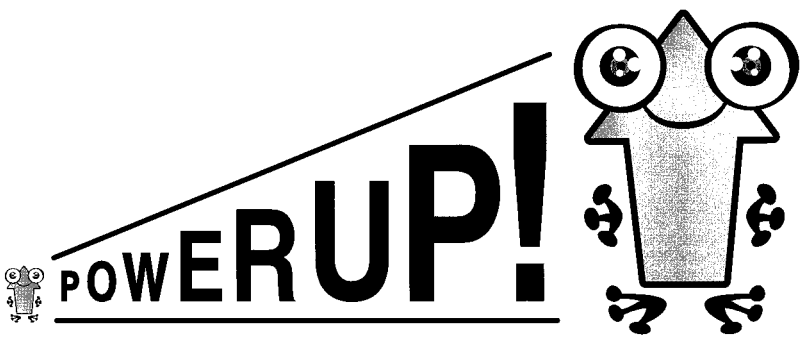
本町は、「楽しく住みよい文化の香り高い町づくり」を基本理念として、健康文化都市を構想している。例えば、平成十五年度より三年間厚生労働省の指定を受け、国保ヘルスアップモデル事業に取り組んでおり、他方、平成十四年十二月新築移転オープンした町立植木病院、並びに健康福祉センター「かがやき館」を拠点として、保健・医療・福祉を一元化する、いわゆる地域包括ケアシステムの構築を目指し、健康を基本にすえた町づくりを積極的に展開しているところである。

本町もまた、ご多聞にもれず、市町村合併の大波にさらされてきた。即ち、熊本市の隣接町であった、しかも三万人の人口をかかえていること等もあって、結論的に周辺町との対等合併の道は閉ざされたと認識している。反面、人口六十六万人の中核都市、熊本市が政令指定都市をめざし、合併の意向表明がなされてこの方、本町の住民から熊本市との合併を求めて住民発議がなされ、様々な経過をたどり、結局、三月末に県下初の住民投票となった。その結果は、約四千三百票の差をもって、熊本市を指向する選択肢は否定されたのである。

私としては、編入合併、即ち、依存型の合併は結果的に将来、自分達の町が危なくなるというふうにとらえており、「寄らば大樹の陰」、「他力本願」のゆき方には大きな不安を抱くものである。故に、本年度中を別途として、植木町新まちづくりプランを住民参加のもとに策定することとして、その取り組みを開始したところである。「天は自ら助くる者を助く」多少苦しくとも、自助努力、ふるさと植木を愛しお互いが誇りをもち、植木町の建設に邁進するならば、そこに自ずと道は開けるものと確信している。

私は、二年前、二十一世紀の幕開けの年に当たり、確かに厳しい時代の到来を予感しながらも、やはり新しい世紀に希望を見出したいと真に思ったものであった。しかるに今日、未だその兆しを感じ取ることは出来ない。本来、私どもは「衣食足りて礼節を知る」に見るが如く、これに共感を覚えてきたところであるが、経済大国日本のも成熟社会の中で、いつのまにか、そのことわざは、死語にも等しいものになっているのではないかとこれまた痛感している次第である。こうした中、私自身これまで以上に身を引き締め、姿勢を正し、かつ無私に徹し、一日一日しっかりと歩いてゆきたいと思っている今日この頃である。

**M's Action.**



解決する保険 **ザ・ベクトル** カエレル生命保険「ザ・ベクトル」は、みっついい!!

1 **POWERUP!**

ザ・ベクトルは、ご加入後も人生の変化に応じて、保障内容や保険料を「カエレル」。高い自在性をそなえた、変化の時代を生きるための保険です。

2 **POWERUP!**

ザ・ベクトルは、マモル機能 (1泊2日からの入院保障、ガンや介護の保障)、タマル機能(すぐれた貯蓄機能)、積立金を自由に引き出せる機能など、いろいろ「ソロツテル」安心の保険です。

3 **POWERUP!**

ザ・ベクトルは、オトクな割引制度、ベリリな「M-VAセットプラン」、多彩なアフターサービスで1人1人をササエル「ぐっと、Communication」など、「オリジナル」なサービス満載の保険です。

お問い合わせは: <http://www.mitsui-seimei.co.jp/> **BEST PARTNER 三井生命**

## 政策リーダー

## 政策リーダー

### 次世代育成支援施策のあり方に関する報告書まとまる 厚生労働省

厚生労働省の次世代育成支援施策の在り方に関する研究会は八月七日、少子化対策の基本指針となる報告書「社会連帯による次世代育成支援に向けて」を取りまとめた。

報告書では、次代の社会を担う子ども達の幸せを第一に、普遍化・多様化、総合化・効率化、家庭と地域の「子育て力」、出生から青少年まで年齢に応じたきめ細かな施策、専門性の確保の五本柱を軸に、必要な各種支援を実施し、子育てに伴う喜びを実感できる社会を形成することを基本としている。

具体的には、地域内の親子の居場所をコンビニのように歩いていける身近な範囲に設置する、保育所について、従来の市町村委託方式から、保護者と保育所が直接向かい合える関係を構築、市町村の責任・役割として、保育の供給体制の整備や質の向上を図る、保育所利用の必要性及び優先度の判断等に関する新たな仕組み(要保育認定)の導入、保育所の公設民営方式及び公営保育所の民営化を推進、一歳児保育の推進、育児休業制度の取得期間の弾力化、保育所運営費用について、市町村の自主的な取組みを尊重しつつ、国と地方公共団体を含め、国民全体で支える仕組み(次世代育成支援交付金等)を検討する、所得水準の低い、低年齢児を抱える家庭への支援等を挙げている。

### 地方税電子化協議会を設立

地方税電子化協議会は、八月七日、設立総会を開催した。

同協議会は、地方公共団体の相互協力により地方税電子化の円滑な導入を推進し、安定的に運営することを目的として設置されたものである。同協議会内には、知事と市町村長等で構成される委員会のほか、都道府県と市町村の税務主管部課長等で構成される幹事会及び専門部会を設けることとなっており、委員長には石井正弘理事(岡山県知事)が選任された。

今後の地方税電子化の取組みに向けては、地方公共団体が主体となつて設立、運営する本協議会において、本年七月に地方公共団体の実務担当者で構成する「システム検討会」がとりまとめた「地方税電子申告システム概要」を基本としてシステム開発を行い、地方税の電子申告等の早期導入を目指し着実に推進することとしている。その際に、導入費用の圧縮、納税者利便の向上、システムの信頼性確保、全団体での早期運用等を効果的に実現する観点から、ITアウトソーシングにより地方公共団体が共同してシステムを開発、運用することを基本方針としている。

また、電子申告の運用開始の目標について、速やかにシステム開発、ポータルセンター構築に着手し、平成十七年一月を目途に数団体によるパイロット事業として地方税電子申告の運用を開始し、平成十七年度以降、順次運用団体及び対象税目の拡大を行っていくこととしている。

### 森林吸収源対策支援のための研究会報告まとまる

林野庁の「地球温暖化防止吸収源対策の推進のための国民支援に関する研究会」は、この程これまでの検討結果を中間報告としてまとめ、公表した。

この研究会は森林吸収源対策の意義等について検討し、現在、中央環境審議会で検討中の温暖化対策税の活用も含めた国民的な支援意識の醸成につなげていこうとするもの。

中間報告では、まず、温暖化対策の第2ステップ(二〇〇五～〇七年)における追加的対策として、温暖化対策税の創設と吸収の使途は重要な検討対象であると指摘。

さらに、森林吸収源対策は、「排出された炭素の回収対策」とした上で、森林による吸収量目標は三・九%と大きなウエイトを占めること、資金の確保により即実行可能であり、継続的な効果が期待できること、再生可能な森林資源の活用は循環型社会の形成にも貢献すること、木材産業及び地域経済の活性化や、雇用創出の効果があること、安全な国土の形成、水源のかん養、生物多様性の保全等、多様な公益的機能の発揮が確保されること、森林整備の費用負担に対する国民的な理解が高いことなどから、温暖化対策税の使途として、森林吸収源対策を重要な検討対象と位置づけることが適当であるとされた。

今後は、本報告を契機に議論を活発化し、吸収源対策としての森林整備への支援意識が一層深まることを期待している。